

議会改革調査特別委員会会議録

令和6年10月11日(金)
安平町議会 議員控室

I 協議事項

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 事 件
 - (1) 副委員長の互選について
 - (2) 令和6年度議会懇談会について
 - (3) 継続審議の案件について
 - (4) その他
- 4 閉 会

2 出席委員(8名)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	梅 森 敬 仁	委 員	工 藤 秀 一
委 員	米 川 恵美子	委 員	小笠原 直 治
委 員	鳥 越 真由美	委 員	三 浦 恵美子
委 員	内 藤 圭 子	委 員	高 山 正 人

欠席委員：田 村 興 文、箱 崎 英 輔

3 委員外出席議員

職 名	氏 名
議 長	多 田 政 拓

4 議会事務局出席者

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事務局長	木 林 一 雄	課長補佐	石 塚 一 哉

会 議 の 顛 末

[開会 午後0時2分]

1 開 会

2 委員長あいさつ

- （梅森委員長） それでは皆さんお疲れ様です。ちょっと項目何点かありますが、スピーディな議事運営にご協力のほどよろしくお願いします。
それでは本日、田村委員と箱崎委員が欠席ということですが、定足数に達していますので只今から議会改革調査特別委員会を開会します。
委員長あいさつとありますが、今言ったように時間大分過ぎていますのでスピーディな議事運営にご協力のほどよろしくお願いします。

3 事 件

- （梅森委員長） 3の事件に入ります。（1）副委員長の互選について。これについては事務局の方から説明をお願いします。
- （木林局長） 副委員長の互選です。資料は付けていません。副委員長でありました工藤隆男議員が逝去されましたので後任の副委員長の互選について選出方法を含めてご協議をいただきたいと存じます。なお、委員会条例第7条第2項で副委員長は委員会において互選するとなっています。それから後任の副委員長の任期は令和8年4月22日までとなっています。説明は以上です。
- （梅森委員長） 何か質疑はありませんか。
- （一同） ありません。
- （梅森委員長） なければ今説明があったように、慣例から言うと立候補、推薦ということで進んでいきたいと思っておりますが、立候補なさる方いらっしゃいますか。

(工藤委員挙手)

はい、工藤秀一議員ですね。その他いらっしゃいますか。なければ工藤秀一議員でよろしいですね。

○(一同) はい。

○(梅森委員長) それでよろしいですね。なお、任期については今説明があったとおり令和8年4月22日までとなっていますので確認の上お願いします。

では2番目の令和6年度の議会懇談会について。懇談会の日程その他については事務局の方から素案として一応作ってもらいました。何もなくどうしますかと言ってもなかなか進まないのですね。そういった意味で僭越ではありますが案としてご提示させていただきました。大きな改正点については、今までA班、B班と2つに分かれていたのですが、これ1班全員一緒にいいのではないかと内容になっていますが、この案皆さんお手元にありますか。日程についてはこの日程がいいということで、それぞれの会場の関係もありますのでこういう設定になっています。

協議していただきたいのはこの班編成。今までと違って全員一緒にいいのではないかとということで提案をさせてもらっていますが、その点について皆さんのお考えはいかがでしょうか。

過去と違うというのは工藤隆男さんがお亡くなりになったということと田村さんが会場に来るのは難しいだろうということでご本人の判断もありました。それで実定員の人数が減っていますのでそれでまた2つに割ると4名と5名になってしまうのですかね。議長はアドバイザーとして除けば。そうなるよりも皆さんと一緒にいいのではないかとというつもりで提案させていただきましたが、皆さんのお考えはいかがですか。

○(小笠原委員) とりあえずやってみて。

○(米川委員) 私は分けた方がいいと思います。

○(梅森委員長) ご意見ですので、米川さんどうぞ。

○(米川委員) 去年別に支障はなかったですからね。だから分けた方がいいのではないのでしょうか。

○(梅森委員長) わかりました。それは米川さんのご意見ということで。その他の方。

○(小笠原委員) はい。

○(梅森委員長) 小笠原さん。

○（小笠原委員） 私は良い試みかなと思って、1回やってみてあまりにも議員の数が多くて議員がしゃべりすぎて町民が喋られなくて時間が足りなかったら困るという反省点が出た時には、また縮小した方がいいのかとか。1回やってみて、米川さん1回やってみた方がその後また来年どうするかやればいいのかと思います。これがずっといくというわけではなくて、1回試みてみたらどうですかということです。

○（梅森委員長） はい。他の方はどうですか。

○（高山委員） いいです。

○（三浦委員） 皆の地域の話聞けるし。

○（梅森委員長） 決をとるというのも変な話かもしれないけれども一応意見が分かれていますので。

○（小笠原委員） 全員一致。

○（米川委員） どっちでもいいよ。

○（梅森委員長） わかりました。ちょうど2年終わったということで後期になるので変わることも大事かなと思ひまして、米川さんご理解いただいたということです。皆さんということでこの提案のようにさせていただきたいと思ひます。

その次、司会についてということで、ここには私がこの議会改革調査特別委員会ですので委員長である私が司会をさせていただいてもよろしいかなということ。その他、特に自分がしたいという方がいればぜひお任せしたいと思ひますがいかがですか。では私に任せていただけるということで、頑張ってくださいですのでよろしくお願いいたします。

では3の内容について、何もないということになるとなかなかせつかく集まってくれた方にも失礼に当たると思ひます。懇談会の目的というのは安平町を良くするために一般の町民の方と議員の方たちがお互いに安平町を良くするためにということに特化して話し合いを進めていきたいと思ひています。仮に時間が余ってしまった時にはそれぞれ皆さん活動していらっしゃる。総務常任委員会、経済常任委員会の各委員長、その他次世代の特別委員会もありますのでね。そういう委員長の方たちに話題提供とかご意見を述べていただくことにもなると思ひますので、その点についてのご協力のほどよろしくお願いいたします。この場で特に取り上げてほしいというようなテーマがあればお受けしますがいかがですか。特になければそのように進めさせていただきます。

では（3）の継続審議の案件について3点ありますが、まず①の議員定数、

議員報酬、政務活動費を含めたいわゆる議員のなり手不足対策についてということで、今日ここで何をすると決めるのではなくて皆さんの思いをお聞きして今後それに対応していく、調査その他必要だと思います。先達では北海道新聞に議員のなり手不足ということで記事が出ていたり、毎月私たちが手にしている自治体ワークスについても報酬の見直しその他なり手不足対策ということでありますので皆さんそれぞれお考えがあると思いますが、この点についてどういうことに特化してやっていけばいいのか。もしくはいやいや今までどおりで何も困ることはないのでもいいんだというお考えもあるでしょうし。私たちの議会の選挙の時にはプラス1名でした。その前には同数で選挙がなかった時も我が町ではあるので決して他人事ではないと思うのですよね。そういった意味で活発に若い人からも立候補していただくためにどうするというのも一つの我々の必要な、大事なことかなと思っておりますが、皆さんのお考えはいかがでしょうか。

- （鳥越委員） はい。
- （梅森委員長） 鳥越委員。
- （鳥越委員） 今すぐどうこうってもそんなに時間もないことなので、例えば調べられることは調べて、町民に他の自治体のことの状況だったりをどこかで町民に示せたらいいなと思うので、そういう調査はしてもいいのではないかなと思います。例えば報酬の状況とか年齢構成とか、選挙があるなしも含めて調べられたらいいなと思っています。
- （梅森委員長） はい。他にご意見ありますか。
- （多田議長） はい。
- （梅森委員長） 議長。
- （多田議長） 僕の方からあれなのですが、せっかく皆タブレットが配布されてリモート会議ができる環境には一応なったのですよね。ですから特別委員会や特別委員会の開催をリモートで1回開催する機会を設けてもらえればなと思っています。うまくネットの状況がそれぞれのリモート先で可能かどうかの確認も含めてお互いに意見の交換ができるかどうかも含めて1回体験された方がいいのではないかなと思うのですがいかがでしょうか。
- （梅森委員長） これは①のなり手不足対策ということにつながっていきますか。
- （多田議長） そこではなく、まあそうなってくると議会活動の幅が広がってくるでしょうからいろんなあれでしょうけどね。3番のリモート会議のところが一番大きなところですよ。

- （梅森委員長）　そうですね。とりあえず今は①のなり手不足対策ということでお話をさせていただいていますので後で取り上げたいと思いますが。
- （多田議長）　はい。
- （梅森委員長）　その他の①のなり手不足対策について。事務局の方もいろいろ調査してくれています。近くの町のむかわ町でも議員報酬が上がったとありましたので。出来る限り、あるいは今日でなくてもいいので後日でもいいですからいろいろとご自分で勉強なさったり事務局の方にいろいろ調査を依頼することがあれば順次対応していきたいと思います。そういう流れでよろしいですね。
- （内藤委員）　はい。
- （梅森委員長）　内藤委員。
- （内藤委員）　現状をお知らせするということが大事だと思うので、現状がこんなのですよということ。案外町民の人たち知らなくて、すごくお給料いっぱい貰っていると思っている人もいて私が通信にお給料のこととかを書いた時に驚いたという声が結構たくさん寄せられて、現状を皆さんあまり知らないのではないかなと思いました。
- （小笠原委員）　はい。
- （梅森委員長）　わかりました。小笠原委員どうぞ。
- （小笠原委員）　突っ込んでいいのか突っ込んで悪いのかという重大な決断が必要な事案になってくると思うのですが、私は休日議会、夜間議会の開催。それで通年議会をしていくという方向性を、ある面議論をしていった方がいいのかなと。だからといって議員が出てくる人が増えるのかなという保証も何もありませんが、選択肢としてそれがどうなのかなという面もあるのです。これは正しいことなのかはわかりません。でも働いている世代がもし出られる可能性があるとするなら土日開催、夜間開催、通年議会開催という選択肢もあるのかなと思うのですが、これはかなり難しいものであると思います。これやってパッと手が挙がるというならいいのですが、やったわ、結果同じだったということになるとこれまた厳しいので、そこ辺りも皆さん方と本当にいいのかなということを議論の遡上だけにして、やる、やらないはある面で議論の遡上の中でしていただきたいなと思います。
- （梅森委員長）　ありがとうございます。他にありますか。今いろいろとご意見が出ました。先ほど言ったように後日でも構いませんので何か希望その他あれば

今の点についてまとめて更に問題提起として深く進めていきたいと思っていますので、今日はとりあえず皆さんのご意見をお伺いするという事で少しずつ前に進もうということです。その点ご理解をお願いします。

他になければ②の議長、副議長選挙の際に立候補の所信表明を行うことについてということで、内藤委員の方から確かご提案があったと思っていますが、この点については皆さんのご意見いかがでしょう。

- （米川委員） はい。
- （梅森委員長） 米川委員。
- （米川委員） すみません。特別なければこれでと次に進んでしまったのでちょっと言いづらかったのですが、今言っているいいですか。
- （梅森委員長） どうぞ。
- （米川委員） 議員定数ですけど、工藤隆男議員も休みがちの中でこの1年間2人が議会に出てこられない状態が多い中で仕事が全てやりこなせていたので、議員定数減らしてもいいのかなと思っています。
- （梅森委員長） わかりました。あとはよろしいですか。では戻りますが②の議長、副議長選挙の際の所信表明についてということで。先達ての国会その他についてはそういう所信表明その他しているわけですが、我が町では今までしたことありませんでしたね。近隣の市町村でもないですね。あまり聞いたことはないですね。先達ては内藤さんの方からそういうことをしてもらった方が自分としてはわかりやすいことだったのですが、他の委員の方からは議員仲間の中で普段から議員活動をしている、その他こうやってお互いにわかっているのだからそれは必要ないだろうという意見もあったと記憶していますが。この必要性についてぜひやってほしいという他の意見の方いらっしゃいますか。立候補の、
- （小笠原委員） 決意表明でしょ。
- （梅森委員長） 立候補するということについてね。今までは立候補というのはなくていきなり選挙で選ばれて、大体みんなそうかなと思うのですが。特に必要性があると思う方いらっしゃいますか。今までどおりでよろしいですかね。
- （鳥越委員） はい。
- （梅森委員長） 鳥越委員。
- （鳥越委員） 私も慣れてしまって、ないものが普通かなと思っていたのですが、最初議員になった時に何か誰だかもわからない、なんでなりたいかもわからな

いというのはあったので、今後はそれも議会改革の一つかなと。あってもいいのかなとは思いますが。したい人はすればいいし、したくない人は。でも、した方がいいのかなとは思いますが。個人的に。

○（梅森委員長） 他にありますか。必要のないというご意見はありませんか。なければやる方向で一応。

○（高山委員） はい。

○（梅森委員長） 高山委員。

○（高山委員） 私もこの慣れたせい、立起表明たる所信を述べるというのはなかなか聞いたことが現実的にはなくて、これからやった方がいいのではないかと言われたら、それもちよっと僕も馴染めないなって。こんな言い方したら悪いのですが、そういう習慣がないので、その人の意見でこの議会が動くということでも当然ないだろうし、これは内輪の中でいろいろ喧々諤々、中でやることであるのかなと自分はいつも判断していたものですから、私はなくていいのではないかなと思っています。

○（梅森委員長） ありがとうございます。

○（小笠原委員） はい。

○（梅森委員長） 小笠原委員。

○（小笠原委員） 私は鳥越さん言っているのと高山さん言っているのとちょっと、どっちがどうなのかっていうのは迷うのですが、あびらチャンネル放映されますよね。その時にガッツとしっかり何分時間あるか知りませんが、その時に町民の受けと投票結果の乖離があった時にどうなのかなという面があって。あの人が立派だったでしょうと町民の感情が出てきた時に投票結果においたら何っていう、これがどうなのかなと悩ましいというかね。それはパフォーマンスやったら何とか訴えて身振り手振り口で私にぜひってことをやれるけれども、それが映された時に、結果が出た時に町民どう判断するのかなという心配事があるので。これもまだ2年あるから、しっかり2年間の間でじっくり議論していった方がいいかなと思います。いいとかやるとかではなくて。

○（梅森委員長） わかりました。

○（鳥越委員） はい。

○（梅森委員長） 鳥越委員。

- （鳥越委員） イメージなのですが、議会の中で議長の選挙とか副議長の選挙をやる時に表明するというよりは、次の受かった議員さんたちの中で表明されてなりたいという人が、非公表ではないですがイメージで言っています。非公表という形で議員全員の前で自分はなりたいという人がそれを表明して、その結果を議場の中で示せばいいのかなというふうに、もし複数いる場合ですね。イメージとして想像します。可能であれば。可能なのですか局長。
- （梅森委員長） これ互選だよ。ちょっと事務局の方から若干基本的な説明があります。
- （木林局長） 今の立候補した時の表明ですが、小笠原議員が言われるようなケースも実はあるそうで、Aさん、Bさんが立候補して表明したのですが、実際投票したらCさんに入ったと。全然表明していない方に入ってその方が議長になったという事例もあるものですから、言われるとおりの恐れもあるので2年間の中で引き続き資料集めながら、やり方含めて議論していただければと思っています。
- （梅森委員長） 今日は皆様のご意見をお伺いしたということによろしいですかね。
- （一同） はい。
- （梅森委員長） では2番目についてはそれで終わりとします。

3番目についてはリモート会議。ペーパーレスなどのタブレットの活用についてということですが、先ほど議長の方からご提案がありました。テストケースとしてやる方向で進めていかなければならないのかなと考えていますが、まだなかなか不得意な方もいらっしゃるし、ペーパーレスとペーパーと両方併用してやっていこうということでも今スタートしていますのでね。まだすぐとはなかなか難しいかなと思っていますが、やる方向で、やるとしたらどういう形があるのかについて事務局の方で精査をしていただきたいと思います。すぐするということはなかなか難しいかなと思うのですが。それでよろしいですか。
- （鳥越委員） はい。
- （梅森委員長） 鳥越委員。
- （鳥越委員） 経済委員会は田村委員が所属しています。せっくなので委員会はペーパーレスというかタブレット活用が今、可能なのではないかなとは法律上思うので、試す部分も含めて経済委員会は田村さんに遠隔でやれないものなのかどうかも進めていければと思うのですが、経済委員会の中でこれを言っていた方がいいと思うのですが、委員会活動の中にタブレットの活用がこの1年

半の間にあってもいいのかなとは思っています。

- （梅森委員長） わかりました。どういう形でできるのかということについても、まとめて事務局の方で考えていただくということでもよろしいですか。ご意見です。

その他ありますか。特に今の中で不具合が生じているので、こういうふうに変更してほしいとか何とかというご意見もあるのであれば承りたいと思いますが。今の状態で進めていくということでもよろしいですか。あとは今それぞれ希望が出ましたので、多田議長の方と鳥越さんの方から提案がありましたので、どういう形で実現可能なのかについては精査して進めていきたいと思います。

では、4のその他について事務局の方から説明があります。

- （木林局長） 事後報告になってしまうのですが、6月14日に開催しました議会改革委員会の中で安平町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正についてということで、懲役を拘禁刑に改めるということで条例改正のお話をさせていただきました。9月議会に提案する予定だったのですが、直前になりました。検察庁から物言いが入りまして、これこういった懲罰に関する刑に関する事なので、検察庁と協議が必要だということで7月下旬から協議しまして9月下旬に回答がありまして、結果問題なしということだったのですが、そういった協議の時間を要してしまったということで9月議会には提案はできませんでした。それで協議が整いまして今後12月議会に一応提案する予定でありますことをご報告申し上げさせていただきます。なお、提案の際は総務課の方から職員の給与に関する条例改正、こちら禁固刑を拘禁刑に直していますので、そちらと合わせて一本で改正案のご提案をする予定ですのでご報告させていただきます。

- （梅森委員長） 何か質問ありますか。なければ報告案件なので、

- （米川委員） はい。

- （梅森委員長） それ以外ですか。今の件に関してですか。

- （米川委員） 今回の件ではない。

- （梅森委員長） では今の件についてはよろしいですね。その他何かあれば。

- （米川委員） はい。

- （梅森委員長） 米川委員。

- （米川委員） 半導体調査特別委員会、せつかく設置されていますので。議員の皆様

さん、役場から何かご説明をしていただきということがあったら要請していき
たいと思いますけどいかがでしょうか。先の議会で質問した時に資材置場など
の民間の土地が提供されている報告を受けていますが、その他せつかくの大事
業に我が町の活性化に寄与するようなことで何かしていただけることがある
のかどうか、町の方の動きはどうなっているのかということでご説明を求める
ことは必要ないのかどうか伺います。

○（梅森委員長） ちょっとこの委員会の内容とは違うと思うので、ご提案されるこ
とはやぶさかではありませんが、とりあえずは議会改革の終わった後にご提案
なさったらよろしいのではないですか。

○（米川委員） はい。

○（梅森委員長） 申し訳ないけどそういうことでお願いします。では他に議会改革
の委員会の中で質問その他ありませんか。以上で閉じてよろしいですね。それ
ではご協力ありがとうございました。以上をもちまして議会改革調査特別委員
会を閉じます。ありがとうございました。

閉会 午後0時28分

会議の経過を記録してその相違ない事を証する為、安平町議会委員会条例第26条
第1項の規定に基づき、ここに署名する。

令和 年 月 日

委員長 _____

副委員長 _____